

1st Sear

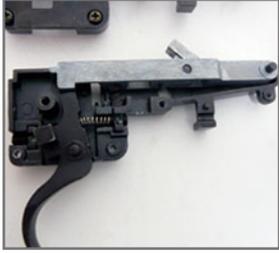
2021.5 現在

純正トリガー用のリペアパーツはPDI製ニュートリガーのリペアパーツとは異なります。組込み手順を記載しますのでカスタム初心者の方は参考にしてください。

トリガーボックスを開けてみましょう

ボックスを開く方向がPDI製ニュートリガーとは逆になります。図と同じ方向にトリガーボックスを水平に置き、ボックスのフタを止めてあるネジを全て外し、ゆっくりとフタを取り外してください。この時内部の2カ所に使われているバネが飛び出す可能性があるため注意してください。ボックス内のパーツをセットした後は、外したときと同じ手順でフタをボックスにネジで固定してください。

※ボックスのフタを開く際は中の小さなパーツを落とさないよう、整理された机の上でボックスを水平に置いて行うようにしましょう

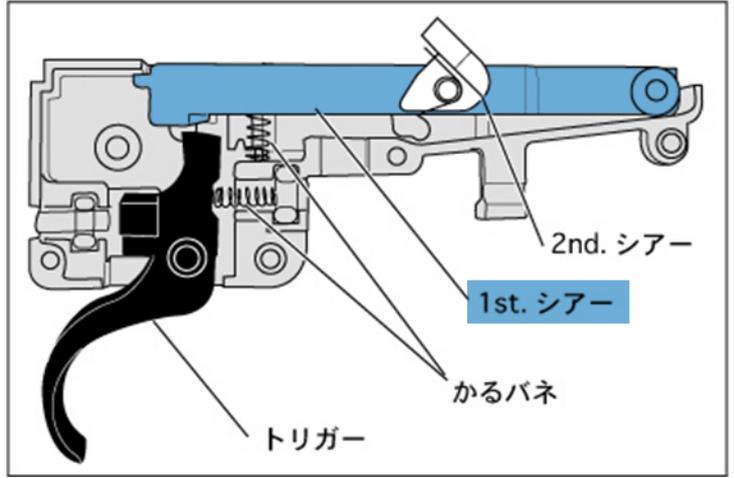


PDI製品として以下の純正トリガー用リペアパーツを販売しています。

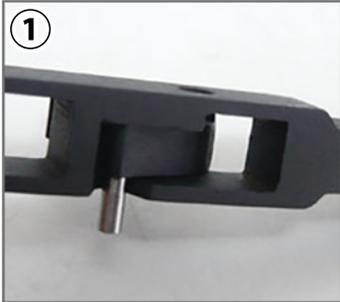
- ・「1st.シアー」
- ・「2nd.シアー」
- ・「かるバネ」(大小セット)
- ・「セットピン2」

※2nd.シアー取り付け時に仕様するバネはPDI製2nd.シアーには付属していません純正に付属していたものをお使いください

図解 一断面図一



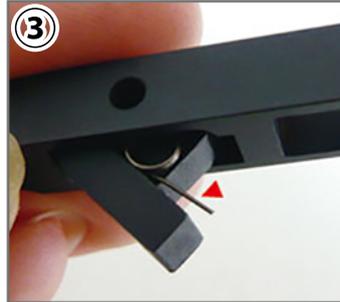
組込み手順



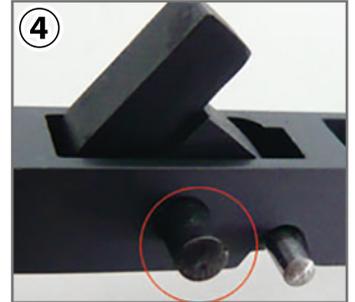
1st.シアーの底から2nd.シアーを入れます。図のように2nd.シアーのピンの位置が1st.シアーのくぼみに来るようセットしてください。



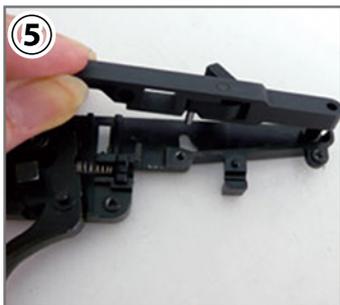
上からトーションバネを入れます。入れる部分は赤い矢印の部分です。



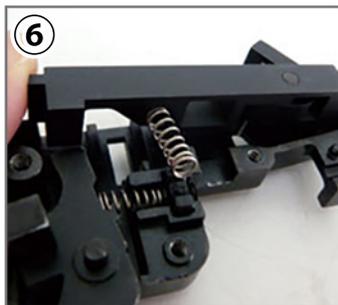
トーションバネを入れる際には方向があります。長いほうの針金を2nd.シアー一側面に当たるようにセットします。



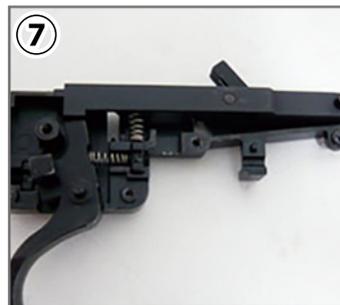
赤丸の部分にピンを差し込みます。バネが入れづらい方は軽くピンを差し込み、先にバネ穴に入れてから、2nd.シアーの穴にピンを通すと入れやすくなります。※ボックス内部で使われている3本のうち、短いものがこの部分のピンです



2nd.シアーを1st.シアーにセットした後、トリガーボックス内へセットします。※トリガーが組込まれていない状態でもシアーのセットは可能です



ピン穴に差し込み、ボックス内へセットした後、後方を軽く持ち上げてかるバネ(大)をセットします。



シアーの組み込み完成です。



トーションバネの組込み位置がよくわからないという方は、右の図を参考にしてください。

1st.シアー内の段差と2nd.シアーの段差にトーションバネがはさまり、ピンで固定することにより、反発するバネの力が働き、シアーを戻しています。

